

基本目標2 誰もが安心して『夢』を持って暮らせるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	取組内容	令和4年度実績	進捗状況	課題等	Withコロナ アフターコロナを踏まえた事業内容の見直し	今後の方向性	担当部署
1 最期まで自分らしく過ごせる地域をつくる	1 障害者地域生活支援事業	障害のある人の自立した日常生活や社会生活のため、地域の特性や利用者の状況に応じ、日常生活用具の給付、権利擁護、手話等の通訳、移動支援等のサービスの提供等を行います。	⑩障害者の地域生活を支援するため、各種地域生活支援事業を実施した。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑩無し	⑩無し	維持	⑩社会福祉課
	2 居宅介護福祉用具購入費の給付・居宅介護住宅改修費の給付	自立した生活環境を整えるため、居宅介護福祉用具を購入したり、段差解消などの住宅改修を行う際に支援します。	⑪介護認定を受けた者へケアマネジャーがケアプランに基づき、福祉用具の購入や段差解消などの住宅改修を支援した。 福祉用具購入 275件 住宅改修 174件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪無し	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	3 食の自立支援事業	在宅のひとり暮らし高齢者等が健康で自立した生活を送ることができるように、安否確認を兼ね、食生活に関する情報提供と配食サービスを実施します。	⑪安否確認を兼ね、食生活に関する情報提供と配食サービスを実施した。 配食数 16,554食	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪利用者への栄養改善の指導方法等。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	4 認知症高齢者の見守り体制の強化	地域での認知症徘徊高齢者見守り体制を強化するため、「認知症サポーター養成講座」の開催や「わんわんパトロール隊」の設置、見守りシールの活用を推進します。	⑪従来の地域の団体に加え、職域での認知症への普及啓発を図るため、郵便局を対象とした認知症サポーター養成講座を開催した。 認知症サポーター養成講座 2件 「わんわんパトロール隊」は狂犬病予防接種の機会を利用し、リーフレット等で周知活動を実施した。 わんわんパトロール隊 4件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪今後も単身高齢者の増加により、事業の必要性は高い。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	5 緊急通報システムの貸与	在宅のひとり暮らし高齢者等の急病等緊急事態に関する日常生活上の不安を解消するため、家庭用端末機・ペンダント型無線発信機または携帯端末型緊急通報装置を貸与します。	⑪緊急ボタンを押すだけで、安心センターと通話ができ、状況に応じて協力員や親族への連絡や救急車の出動を要請した。また、緊急通報以外でも看護師が生活や健康面での不安や悩み事ごとの相談を24時間365日体制で受け付けている。 実績 100人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪今後も単身高齢者の増加により、事業の必要性は高い。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	6 救急医療カプセルの配布	65歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯に、内服状況や現病歴などの医療情報や緊急連絡先を記載した用紙を入れる専用の容器（カプセル）を配布します。	⑪高齢者のみの世帯に、内服状況や現病歴などの医療情報や緊急連絡先を記載した用紙を入れる専用の容器（カプセル）を配布した。 配布数 87件 内新規配布数 54件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪医療機関情報や緊急連絡先等、本人の情報の更新が課題となっている。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
2 心身の健康づくりに取り組み、健康寿命を伸ばす	1 健康教育・健康相談の実施	市民の健康意識の高揚を図るため、「生活習慣病予防教室」や検診後の健康相談など、さまざまな健康教育を実施します。	⑫感染対策をとり工夫しながら、健康教育や健康相談等を実施した。 生活習慣病予防教室 2回1コース 参加人数 実人数33人 延人数50人 楽ラク筋トレ教室 4回1コース×2コース 参加人数 実人数35人 延人数128人 女性の健康づくり教室 1回実施 参加人数 22人 検診後の健康相談 9回実施 参加人数 63人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫感染対策により、会場を集約したり、実施困難となっていた事業があるため、再開していくことが課題となっている。	⑫楽ラク筋トレ教室は地区巡回（年2会場）を再開。はつらつ健康教室の再開を検討。	維持	⑫健康推進課
	2 総合検診の実施	国民健康保険加入者の20～39歳対象の「フレッシュ健診」、40～74歳対象の「特定健康診査」、後期高齢者医療制度加入者対象の「後期高齢者健康診査」を実施します。 また、健診受診者に対し、早期からの生活改善を促し生活習慣病予防または重症化の予防を図るため、保健指導を行います。	⑬⑭総合検診（集団検診）を再開した。また、施設健診（個別健診）は、前年度引き続き実施期間を拡大して実施。 ・受診勧奨資材の活用や総合検診の再開もあり、みなし健診を含めた特定健康診査受診率、後期高齢者健康診査受診率の向上につながった。 特定健康診査 2,653人 （前年比153人増加） 後期高齢者健康診査 780人 （前年比239人増加） 健康診査 11人 フレッシュ健康診査 76人 （前年比2人増加）	△計画より遅れている	・受診率は低迷している状況。引き続き、受診率向上に取り組んでいく必要あり。 ・施設健診の受診者が増加している状況を踏まえ、総合検診の実施会場の集約を検討していく必要あり。	・感染対策を講じた健診実施は継続し、総合検診は予約制で実施。 ・広報誌等での呼びかけやAIによる特定健診受診率向上事業による勧奨を続けることで受診率向上を図る。	維持	⑬保険年金課 ⑭健康推進課
	3 各種検診の実施	がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、成人歯科検診を実施し、各疾患の早期発見に努めます。	⑮総合検診（集団）を再開し、結核・肺がん検診・胃がん検診・肝炎ウイルス検診・前立腺がん検診を同時実施した。 子宮がん（施設）検診は、安房地域医療センターが追加になり7医療機関で実施した。 肺がん検診 3,794人受診 （昨年度比17人減少） 胃がん検診 887人受診 （昨年度比91人増加） 骨粗しょう症検診 301人受診 （昨年度比54人減少） 大腸がん検診 3,833人 （昨年度比227人減少） 成人歯科検診 61人受診 （昨年度比26人減少）	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑮総合検診と同時実施する検診では、新型コロナウイルス感染症予防に配慮し、集団での実施体制では予約制となり、受診率が低迷している。	⑮事前予約で実施 結核・肺がん検診の地区巡回検診を再開	検討	⑮健康支援課
	4 地域リハビリテーション活動の支援	リハビリテーション専門職等が行う介護予防の取り組みを総合的に支援し、介護予防の機能強化を図ります。	⑯通いの場にリハ専門職が関わり、介護予防の推進を図った。 老人クラブ 21件 サロン等 9件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑯近隣のリハ専門職等の連携	⑯無し	維持	⑯高齢者支援課

基本目標2 誰もが安心して『夢』を持って暮らせるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	取組内容	令和4年度実績	進捗状況	課題等	Withコロナ アフターコロナを踏まえ た事業内容の見直し	今後の 方向性	担当部署
3 子育てしやすい地域をつくる	1 子ども医療費の助成	0歳から中学校3年生までの子どもにかかる医療費（保険適用）の一部を助成します。	⑬令和5年3月末現在の子ども医療費助成事業総額 約57,428千円 令和5年8月診療分から、医療費の助成対象となる子どもの年齢を高校3年生相当まで拡充。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑬無し	⑬無し	維持	⑬社会福祉課
	2 ごんには赤ちゃん事業	生後3～4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、さまざまな不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供・母子の心身の状況や養育環境の把握と助言を行い、支援が必要な家庭について適切なサービス提供につなげます。	⑭令和3年度に引き続き、ごんには赤ちゃん訪問員による訪問はコロナの関係でできなかつたため、保健師による訪問を実施した。対象児童の95%の訪問を実施できた。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑭出生数が減少傾向であるため、ごんには赤ちゃん訪問体制の再構築。全戸訪問にむけて管理していく。	⑭訪問員の見直しを図り、保健師、主任児童委員を中心に展開していく。	維持	⑭健康推進課
	3 妊娠期からの育児支援	健やかな妊娠・出産を実現し、安心して育児ができるよう、「両親学級」と「離乳食教室」を実施し、妊娠期から乳児期における育児支援を行います。	⑮両親学級（妊婦対象）を再開。妊婦を対象に年4回実施。参加妊婦延25人産後の教室は6回実施 参加人数 延29組 離乳食教室については中止。 離乳食教室については、訪問で個別対応した。4・9か月児相談の際には離乳食の展示を行った。 令和4年度には産後ケア事業の利用実績が増加した。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑮妊婦の教室が年間回数が少なかったため、予定月の関係で参加できない意見もあった。令和5年度は回数の増加をはかる。	⑮離乳食教室については、対象、実施内容を変更し令和5年度から再開する。	維持	⑮健康推進課
	4 ファミリー・サポート・センター事業	地域における育児の相互援助活動として、仕事との両立や子育て中の方の育児支援を行うため、援助を受けたい人と、援助ができる人を適切につなぎ、結びつけます。	⑯今年度は、継続利用を希望する家庭が多く、利用件数が193件となった。保護者が仕事と子育てを両立するための支援や、片親家庭への支援が多かった。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑯継続して支援を受けたいといった家庭が増えているため、援助ができる人を各地区に増やしていく必要がある。	⑯無し	維持	⑯子ども教育課
	5 発育発達支援事業	乳幼児健診や相談、「にこにこ教室」等で、発育発達に心配がある子どもを対象に、専門家の助言を受けながら小集団での遊びの場「きらりんくらぶ」などにつなげます。	⑰乳幼児健診や「にこにこひろば」、「にこにこ教室」の様子から発達に心配がある子どもを個別相談や「きらりんくらぶ」に繋げることができた。 保健師、子ども教育課、子ども園、支援学校などと連携を取ることができた。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑰引き続き、保健師、子ども教育課、子ども園、支援学校、病院などとの連携を大切にし、早期発見、早期認知、早期療育ができるようにしていきたい。	⑰無し	維持	⑰子ども教育課
	6 児童遊園や公園の管理・整備	児童遊園や公園の管理や整備を行います。	⑱旧南三原小学校等跡地公園整備工事業務及び開発行為許可申請業務が完了した。大型造形遊具の選定にあたり、想定される公園利用者の意見を踏まえデザインを決定した。 また、旧平群小学校等跡地整備設計業務を進め、イメージ図を作成した。今後、地域からの意見を参考に実施設計を進める。 ⑲児童遊園すべての遊具点検を実施した。点検の結果、小戸児童遊園トイレ改修工事、南千倉児童遊園東屋他修繕工事を行った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑱無し ⑲児童遊園については、引き続き遊具点検を実施し、安全対策を行うとともに、老朽化した遊具の撤去や行政区と協議し廃止するか検討していく。	⑱無し ⑲児童遊園に手洗い等ないところが多い。遊び場の確保では子ども園の園庭開放で対応していきたい。	⑱維持 ⑲縮小	⑱-2 学校再編整備課 ⑲子ども教育課
	7 校庭・園庭の一般開放	地域の子どもの遊び場、市民の健康づくりやコミュニティの場として、小学校、子ども園および幼稚園の校庭・園庭を開放します。	南房総市学校施設の開放に関する規則の規定に基づき実施した。	☆目標達成（事業完了）	⑳無し	⑳無し	維持	⑳-1 教育総務課